

令和3年度																									
講習の区分	<選択領域講習>受講者が任意に選択して受講する領域		講習 時間数	6 時間																					
講習の名称	【選択】中学校・高校国語科の内容と指導		講習形態	講義 (遠隔授業)																					
開設者	長崎大学		定員	50名																					
開設日/時間	令和3年7月4日(日) / 9:00~16:20	会場	インターネットに安定して接続できる場所(職場もしくは自宅など)																						
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	中学校・高等学校(国語) 教諭																						
担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 前田 桂子(人文社会科学域) / kmaeda@nagasaki-u.ac.jp / TEL 095-819-2301																									
担当教員(分担担当者等) 長谷川 哲朗(人文社会科学域)																									
講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい：中学校・高等学校の国語科の目標・内容・方法等について、中高の学習指導要領の国語編の記述に沿って、基礎的・基本的なことを確認するとともに、聞くこと・話すこと、書くこと、読むこと、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の、各領域、事項の学習・指導に関わる学的基礎(国語学・国文学、教育学等に関わる)と新しい動向について把握し、実践に活かすことを目指す。 講習方法：プリント資料を使い講義し、併せて演習も行う。 講習到達目標：指導要領の内容を十分に理解し、中学校・高等学校の国語教諭に必要とされる学問的基礎を身に付け、今後の現場での活用が可能な状態にすること。																									
講習内容(概要) /講習計画(時間毎の講習内容を含む) /キーワード 講習内容(概要) 中学校・高等学校の国語科の目標・内容・方法等について、学習指導要領の国語編の記述をもとに基礎的・基本的なことを確認する。併せて、新指導要領と現行のものとを比較・対照する。こうした理解をふまえ、言語事項(言語の特質に関する事項)の領域の学習・指導についての学的基礎(国語学に関わる)と新しい動向とを、原理と実践の両面にわたり、講義と演習とを通し把握し、受講者各位の今後の発展に備える。 講習計画・内容																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容等</th> <th>時間</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オリエンテーション</td> <td>9:00~9:10</td> <td>長谷川</td> </tr> <tr> <td>講義・演習</td> <td>9:10~10:40</td> <td>長谷川</td> </tr> <tr> <td>講義・演習(30分から1時間程度の試験を含む)</td> <td>10:50~12:20</td> <td>長谷川</td> </tr> <tr> <td>昼休憩(50分)</td> <td>12:20~13:10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>講義・演習</td> <td>13:10~14:40</td> <td>前田</td> </tr> <tr> <td>講義・演習(30分から1時間程度の試験を含む)</td> <td>14:50~16:20</td> <td>前田</td> </tr> </tbody> </table>					内容等	時間	担当教員	オリエンテーション	9:00~9:10	長谷川	講義・演習	9:10~10:40	長谷川	講義・演習(30分から1時間程度の試験を含む)	10:50~12:20	長谷川	昼休憩(50分)	12:20~13:10		講義・演習	13:10~14:40	前田	講義・演習(30分から1時間程度の試験を含む)	14:50~16:20	前田
内容等	時間	担当教員																							
オリエンテーション	9:00~9:10	長谷川																							
講義・演習	9:10~10:40	長谷川																							
講義・演習(30分から1時間程度の試験を含む)	10:50~12:20	長谷川																							
昼休憩(50分)	12:20~13:10																								
講義・演習	13:10~14:40	前田																							
講義・演習(30分から1時間程度の試験を含む)	14:50~16:20	前田																							
キーワード (国語科の目標・内容・方法等) (学習指導要領) (原理と実践)																									
成績評価の方法	成績評価は、講習担当者が行う試験の成績や講習中の課題への取組み等から総合的に判断します。																								
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。																								
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。																								
教科書・教材・参考書	指定図書特になし。当日、プリント資料を配布します。																								
各自で準備するもの	パソコンまたはタブレット(可能な限りパソコンで受講ください)・カメラ・マイク ※パソコン等に内蔵されていればカメラおよびマイクは必要ありません。																								
受講上の注意	<ol style="list-style-type: none"> <li>「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。</li> <li>視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。</li> <li>遅刻は原則として認めません。</li> </ol>																								

